

現在、18カ国の学習者と交流しています。

市岡国際教育協会・日本語教室は、大阪府立市岡定時制高校の閉鎖を受けて、働きながら学ぶ「定時制の灯」を消したくないと定時制高校の同窓会が中心となり1996年5月にスタートしました。市岡国際教育協会は、田龍会(市岡高校定時制同窓会)に母校の廃校後も、引き続き支援して頂いております。

Ichioka 会報

2006/1
第31号

発行人/市岡国際教育協会理事長 河原寛治 /編集/広報係
大阪市港区市岡元町2-12-12 TEL/FAX:06-6582-0348

特定非営利活動法人
市岡国際教育協会 日本語教室

- 場所 大阪府立市岡高校内
- 日時 金曜日午後7時から約2時間
- ボランティア参加費
入会金 1,000円
年会費 1,000円
- 学習者は無料

ウルート草原から来た 子どものお礼

私は今年の4月から『市岡日本語教室』で勉強している、中国の内モンゴル出身で、モンゴル人です。日本に来て3年半になります。

今年の6月に、内モンゴルの環境に恵まれなくて、学校へ行けない子どもたちのために募金をお願いいたしました。『市岡日本語教室』の皆さんの協力で6月の3回の募金で、40人から41,625円集まりました。

私はこのお金を7月に故郷内モンゴル烏ラ特(ウルート)中旗(町)のモンゴル民族小中学校の7人と内モンゴル師範大学の地理科院2002年の学生1人、あわせて8人の子どもの奨学金として渡しました。41,625円は中国元で約2973.2元になり、1人当たり約37.2元になります。

子どもたちから感謝の手紙が送られてきました。学校からも感謝状が送られてきました。子どもたちは、お金の問題で退学になって困っているとき、あのお金の助けで勉強が続けられるようになりました。子どもたちは、心

から喜んでいきます。私からもお礼を申し上げます。

多くの子どもたちを学

校に行かせるためにも出るだけ多くの方のご支援を必要としています。今後とも皆さんのお力を貸していただければありがたいと思います。

(烏力更)

感謝状

市岡日本語教室の方々

はじめまして、私は奨学生たちを代表して、市岡日本語教室をはじめ募金にご協力いただきました方々に心より感謝するとともに、あつくお礼を申し上げます。

経済的に困難な子どもたちに、心温まるご支援をいただき学校側としても嬉しい限りでございます。

2005年8月24日

烏ラ特中旗蒙古族小学校
烏ラ特中旗蒙古族中学校

感謝の手紙

市岡日本語教室の皆様...
お元気ですか。

私はボルマと申します。

烏ラ特中旗のオンゴンソモに住んでいます。烏ラ特中旗のモンゴル中学の初114班で勉強しています。

最近、雨が少なく、砂嵐とバッタの災害で家畜が食べる草がなくなり、家畜がたくさん死んでいます。それが私たちの生活に多く影響を及ぼしているため、父は仕方なく出稼ぎをしています。それでも私たち兄弟の就学を保障できず、兄が中学を中退してしまいました。

いつか私も兄と同じように勉強のチャンスを見失うかと心配していたとき、市岡日本語教室の方々に生活費をいただき、とても嬉しく思っています。

どんなに生活が苦しくても勉強は一生懸命したいと思えますので、これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

2005年8月25日

烏ラ特中旗蒙古族中学校
初114班 ボルマ



(写真は奨学生と先生方)

壺坂寺の遠足の感想

程志遠(台湾)

私は日本に来ていたうちに、いろいろなところを見たいです。秋になると日本では代表的なことは何と云っても紅葉を見ることでしょうか。

11月23日に市岡日本語教室を通じて奈良の壺坂寺を見学しました。

その日はいい天気でした。朝早く起きて、朝食を食べた後すぐに集合場所の駅に向かって行きました。

駅に着いた時には、なぜか誰もいませんでしたが、祝日を利用して郊外へ遊びに行く大勢の人々を見かけました。しばらく待って、ボランティアの先生と学生が続々と駅に到着しました。今回参加している人がおよそ50人

です。間もなく、出発の時間になって、みんな電車に乗って壺坂寺へ行きました。天王寺駅から壺坂寺まで約40分かかりました。

しばらくして、壺坂寺に着きました。「わく、きれいな紅葉ですね」と言いました。私は日本へ来る前に、自分の国でテレビや雑誌の写真などから日本の紅葉が美しいことを知っていました。今では日本でも自分の目で見て思っていたのと全然違った感じでした。それを見る時、心の中で言葉



は何とも言えないうれしい気持ちになりました。そして食べているうちに国に帰ったような気分になりました。

昼食を食べたあとで、みんなは寝ている大仏の前で写真を撮りました。散歩する途中で小さな仏像を発見して、台湾と違って日本はどの仏像の首もよだれ掛けをしています。そして、どの仏像の手の中にもたくさん硬貨が置いてありました。私にはとても面白かった。その日、高取にある江戸時代の城下町でお祭りが行われるので、昔の家並みの前でいろいろな日本各地の民芸品を売って、和太鼓の演奏などしていました。私は友達と通りました。私は友達と通りました。私は友達と通りました。私が見た展示物の所でものを見た気がしました。それは、私が日本へ来て初めて楽しい思いをしました。今回の旅行を通していろいろの経験をすることができただけでなく、いい国際交流にもなったと思います。またチャンスがあれば、是非いろいろの旅行活動に参加したいと思います。

い表せないぐらい感じるものがありません。たぶん幸福感でしょうか。そして、私は故郷を思い出しました。

今日の昼食は学校の友達と一緒に準備してもらいました。「うん、めちゃくちゃおいしい料理、台湾風の味でした」と私は言いました。自分の国の料理は長い間食べないだけに食べるときに